

留学生のみなさんへ

チューターサポートを受ける際の注意点(※):

チューターは留学生の渡日後の生活やその後の学習・研究が円滑に進むよう助けてくれます。チューターによる支援とは以下の内容です。

[学内外の各種手続きの手助け、新しい生活環境に慣れるための情報提供、学習・研究支援\(PDF\)](#)

ただし、チューターが留学生の手続きや研究の責任を負うわけではなく、代わりに手続きや実験等をするわけではありません。チューター任せにせず、どのようなチューター支援があれば手続きや学習・研究を進める上で助かるか整理し、必要な支援について指導教員やチューターに伝えてください。指導教員やチューターとよく話し合い、具体的な支援、チューターに会う頻度(時間、曜日等)を決めてください。

(※)チューター支援がなくても、学内外の手続きや学習・研究に支障がない場合には、指導教員にチューター配置の不要を伝えてください。

(※)特段の理由がない限り、チューターの支援が1日6時間以内であるよう、指導教員やチューターと話し合ってください。万が一、6時間を超える場合には、チューター活動の間にチューターが1時間程度の休憩をとれるようにし、長くても1日合計8時間までにしてください。

留学生に求められること:

❖ 情報を入手する

すべての学生は、国際交流室(OICE)・研究科・大学のホームページ、掲示板、ハンドブックおよび大学が配付する概要や書類・通知を確認し、自分自身で手続き・締切日など必要なことを把握するようにしてください。

国際交流室(研究科 HP 内): <https://www.a.u-tokyo.ac.jp/oicehp-j/>

在学生の方へ(研究科 HP 内): <https://www.a.u-tokyo.ac.jp/gstudents/index.html>

❖ 連絡先を登録・更新する

国際交流室(OICE)や事務部から、必要に応じてEメールで情報が送られることがありますので、Eメールアドレスや電話番号を次のとおり登録・更新してください。

◎ 修士・博士課程の学生は UTAS を通じて登録・更新

◎ 研究生は大学院学生担当窓口で登録・更新

❖ 研究室内の連絡について確認する

研究室での連絡体制について、情報がどのように伝えられるのかをチューターに確認してください。

農学生命科学研究科による支援:

本研究科ではチューターのみならず、指導教員や研究室、国際交流室や事務部が一丸となって留学生支援にあたっています。チューターが留学生の質問すべてに答えられないことがあるかもしれませんが、そのようなときは指導教員や国際交流室、事務部各部署にも確認してください。また、心配事や何か問題がある時には遠慮なく、早めに国際交流室に相談してください。

連絡先: 国際交流室(農学部3号館1階105号室)

Email: oice.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

内線: 28122